

そよ風

特集

当院での産婦人科の活動について



庄原赤十字病院 当院での産婦人科の活動について



産婦人科部長 牧野 康男

当院での分娩

胎児の4D写真を配布しています



当科は4月から小生の母校である福岡大学から3ヶ月毎の産婦人科専攻医の派遣にて、産婦人科医師2名体制を維持しています。

当科の最大の役目は、庄原市周辺の住民に産婦人科医療を提供することです。当地で分娩ができるだけでなく、胎児と母親を評価して安心して分娩していただくことが目標です。

当科には中島名誉院長ならびに庄原市の援助で、鮮明な胎児写真を撮れる備北地域唯一の超音波断層装置Voluson S8が導入されていますので、胎児の指の数の確認や胎児心臓病のスクリーニングなどを行っています。また、当院で分娩をされない妊婦にも当院を知っていただく目的で、胎児の4D写真を配布しております。

この地域での婦人科診療

また、庄原市は高齢女性が多く、市立三次中央病院まで行けない方も多いため、当地での子宮癌検診や子宮脱などの婦人科診療も重要な役目となっています。子宮筋腫や良性の卵巢腫瘍などの腹腔鏡手術に対しても他施設の応援により当院で行える体制を整えました。さらに当院は更年期治療や若年女性の医療を行うための女性医学専門医を取得可能な認定施設ですので、最新の婦人科医療も提供しております。

地域の産婦人科体制を守る

最後に、産婦人科医療体制の厳しい現状をお伝えします。岡山県新見市にあるクリニックが3月末で分娩の取り扱いをやめたため、新見市や神石高原町、世羅町などから受診される方が増えてきました。現在、山口大学、川崎医科大学、福岡大学、広島大学からの非常勤医師の派遣で維持しています。私の最後の役目は、若い世代にバトンを繋いで、当地域の産婦人科体制を維持することでありますので、今後ともよろしくお願い致します。

▶基本理念

庄原赤十字病院は、人道・博愛・奉仕の赤十字精神にのっとり、地域の皆様方の健康・医療・福祉を職員一丸となっておまもりいたします。

▶患者さまの権利

患者さまには以下の権利があります。私たち、庄原赤十字病院の職員は、このことを十分尊重した医療に務めます。

- 1、だれもが、良質で安全な医療を平等に受ける権利があります。
- 2、思いやりのある、個人の尊厳が守られる医療を受ける権利があります。
- 3、治療に際し、わかりやすい説明を理解できるまで受け、治療法を選択あるいは拒否する権利があります。
- 4、診断や治療に関して、別の医師の意見を聞く権利(セカンドオピニオン)があります。
- 5、個人のプライバシーが守られる権利があります。
- 6、自分の診療情報の開示を求める権利があります。
- 7、健康に関する指導や情報提供を受ける権利があります。

表紙の あの人



作業療法技術係 作業療法士
くりす たっぺい
栗栖 竜平

例えば、運転再開を希望される方に対してドライブシミュレーターを活用した評価や練習も実施しています。これは安全に運転できるかどうかを確認し、安心して日常生活に戻れるように支援するものです。作業療法はその人にとって大切な「作業」を通じて、心と体の機能を高め、自分らしい生活を取り戻すお手伝いをしています。

作業療法士は、病気やけが、高齢による心身の不調などで生活に支障が出た方に対して、「その人らしい暮らし」を取り戻すための支援を行うリハビリの専門職です。作業療法の作業とは、食事や着替え、入浴といった日常動作に加えて、趣味や仕事のことをいいます。当院では日常動作の練習だけでなく、退院後の生活や社会復帰に向けたサポートも行っています。例



Notification

食中毒を 防ぐために

細菌性の食中毒は、6月から9月頃の気温と湿度が高い時期に多く発生します。
食品の管理や身の回りを清潔に保って、食中毒を予防しましょう。

温かく食べる料理は常に温かく、冷たい料理は常に冷たく保ちましょう。
温かい料理は65度以上、冷たい料理は10度以下に保ちましょう。



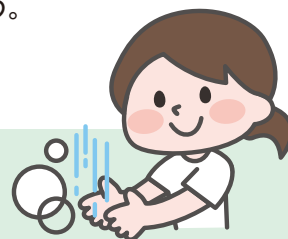
食材や料理を、室温に長く放置しないようにしましょう。
例えば 0157 は室温でも15~20分で2倍に増えます。



料理の前、食事の前には流水・石鹸で、しっかり手を洗いましょう。

冷蔵庫は10度以下、冷凍庫は-15度以下に保ちましょう。
詰め込みすぎると十分冷えません。庫内の7割までにしましょう。
冷蔵保存しても、細菌が死ぬわけではありません。
新鮮なうちに、早めに食べきりましょう。

調理前や、肉・魚や、泥のついた野菜を触ったあとは石鹸を使い、手をすみずみまで洗いましょう。手拭きには清潔なタオルやふきんを使いましょう。



中心までしっかり加熱しましょう。めやすは中心部の温度が75度以上で1分以上です。
ノロウイルスの原因になりやすい貝類などは、85度以上で1分以上加熱しましょう。

肉や魚の汁が漏れないよう、ビニール袋に別々に包み持ち帰り、保存しましょう。





带状疱疹ワクチン 受けませんか？

带状疱疹とは、水痘（水ぼうそう）の原因ウイルスが体内で再活性化して起こる病気で、体の一部、多くは帯状に張り痛みを伴う発疹が出現します。

中には後遺症として痛みが残ったり、目や耳に異常を来すなど、日常生活に支障が出ることもあります。

50歳以上になると発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が経験すると言われています。带状疱疹の発症リスクを下げ、もし発症した場合でも症状を軽くしたり、後遺症のリスクを軽減したりするためにも、ワクチン接種を検討してみませんか？



当院でも令和7年4月からワクチンを取り扱っています。
ご希望の方は、病院へお問い合わせください。



0824-72-3111（代表）

（担当にお繋ぎしますので、带状疱疹ワクチンの問い合わせである旨をお伝えください。）

※ワクチン接種は、公費で摂取できる場合があります。公費で摂取を希望される場合は、お住まいの（住民票のある）市町村の窓口にお問い合わせください。



災害救援車が整備されました

令和7年2月、日本赤十字社広島県支部から令和6年度国内災害交付金により、災害救援車（車種：日産セレナ）が整備されました。

災害救援車は、被災地へ救護員や支援物資を運搬します。

令和6年3月に寄贈された災害救援車（救急車：寄贈：協和鉱業株式会社）とともに、苦しんでいる人をひとりでも多く救うために活動します。



来院される方へお願い 令和7年7月 現在

▶入館時のお願い



入館時は、マスクを着用していただき、手指消毒と検温をお願い致します。

なお、来院前に、熱・風邪症状などがある場合は窓口でお申し出頂るか、事前にお電話でお問い合わせください。

お問い合わせ ☎0824-72-3111

▶病棟での面会

各種感染症の感染防止のため、現在、全病棟で「面会制限」とさせていただきます。

面会制限

一部制限があります
ご確認ください

- ◆家族1回2名まで
- ◆13時～17時（15分以内）
- ◆受付 ・平日（①②窓口）
・土日祝日（ポプラ前防災センター）

※一部、面会ができないお部屋があることがあります。
面会でご来院の方は、窓口にて確認をお願い致します。

